【様式】

令和7年度 学校マネジメントシート

学校名(北星高等学校)

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿	安心・安全な環境で、「自分ならではの学び」を支援する学校	
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿)【グラデュエーション・ポリシー】	・ 夢や希望の実現に向けて、主体的に学び、チャレンジすることができる生徒 ・ お互いの人権を尊重し、多様な価値観を認め合える生徒 ・ 社会規範を身に付け、社会的・職業的に自立できる生徒 ・ 自身の可能性を最大限に発揮し、共生社会の発展に寄与できる生徒
	ありたい教職員の姿	・ 北星高校教職員としての自覚を持ち、教職員間での情報共有を図り、チームとして協働できる教職員 ・ 寄り添いや傾聴の姿勢を重視し、個々の生徒の成長を支援することができる教職員 ・ 教職員としての使命感や責任感をもち、人権感覚やコンプライアンス意識の向上を図ることができる教職員

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<生徒> 安心して学べる環境、学び直しなど個に応じた学習支援、心身の課題に応じた生活支援、自己実現に向けた活動支援 <保護者> 社会に出て自立できる力を身につけられるような支援 <地域> 生徒の公共心とマナーの育成による地域の安全安心、地域活性化への協力・貢献	
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<家庭> 子どもの社会的自立ときめ細やかな支援、子どもの学習状況や本校の教育活動についての情報提供、安心して通わせられる学校環境 <中学校・高等学校> 多様な課題を抱えた生徒の学びのための連携、学びの場の提供 <地域> 地域行事や防災での学校施設の利用と生徒・教職員の協力 <関係機関> 生徒支援のための連携と情報共有	<家庭> 本校の教育活動への理解と協力 <中学校・高等学校> 生徒の情報共有 <地域> 本校の教育活動に対する理解と支援 <関係機関> 生徒支援のための連携と情報共有、専門的な知識の提供
(3)前年度の学校関係者評価など	・ 地域との連携をさらに深め、防災教育の取組をより実践的な避難訓練となるようにしていけるとよい。 ・ 通級指導の対象となる生徒の増加に伴い、支援体制を整備し、継続的な支援をしていくことが重要である。 ・ 進路指導では、キャリアデザインセミナーの効果を長期的に把握したり、職場見学の充実を図ったりすることで、就労のミスマッチの軽減を目指していくとよい。 ・ 個別の教育支援計画やコミュニケーション授業における実践を活用していくことで、生徒の安心・安全な環境づくりを推進していけるとよい。 ・ 教員の働きやすさの向上、地域・企業との連携強化、SNSの適切な活用についても継続的に取り組んでいく必要がある。	

(4)現状と課題	教育活動	・基礎学力の定着が必要な生徒、特別な支援や配慮を必要とする生徒等が多数在籍しており、多様なニーズに対応できる教育課程の編成が課題である。 ・ユニバーサルデザインを意識した授業改善の継続や、生徒の興味・関心、意欲を引き出す授業づくり、ICT等を効果的に活用した個別最適な学びや協働的な学びの推進が必要である。 ・生徒のコミュニケーション力や自己肯定感を育むため、防災教育を通して、自助・共助についてより理解することで、防災意識を高め、地域との連携を深めていく必要がある。 ・生徒の心身の発達課題等について、教職員が多様な背景なども十分に理解した上で、専門家や関係諸機関と連携して、生徒一人ひとりに応じた指導・支援を進めていく必要がある。 ・働きながら学ぶ生徒が減少する中、社会的・職業的な自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成する必要がある。 ・集団生活の中で生徒が自らを律しつつ、他人と協調したり、他人を思いやったりする心を育てる必要がある。
	学校運営等	・「北星高校職員として働くこと」に対する教職員の満足度は高く、チームワークとコミュニケーションを大切にする雰囲気がある。 ・業務分担の偏りと多忙感を解消し、教職員一人ひとりの能力を発揮することができる環境を整備する必要がある。 ・教職員・保護者・地域・関係諸機関との連携を強化し、「チーム北星」による生徒支援の体制づくりを進める必要がある。 ・生徒に社会参画の意識を育むため、学校、保護者、地域が連携した教育活動の機会を創出する必要がある。

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	・多様な生徒の教育的ニーズを踏まえ、生徒の自己肯定感を高めるとともに、生徒が「学ぶ喜び・楽しさ」を見だし、夢や希望の実現に向けて主体的に学ぶことができるよう教育活動を工夫する。 ・生徒が学校における学習と自分の将来との関連に気付き、主体的に進路を選択できるよう支援する。また、社会的・職業的な自立に向けて必要となる能力や態度を育成する。 ・生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、教育活動全体を通じて人権尊重の意識を高め、いじめのない安心・安全な学校づくりを推進する。
学校運営等	・定時制・通信制が一体となった持続可能な学校運営とするため、情報共有のしくみと協力関係を構築する。 ・生徒の成長と自立を支援するため、教職員・保護者・地域・関係機関等との連携を強化する。 ・教職に必要な素養や教育課題への対応力等の向上を図り、効果的な教育活動を継続的に行うことができるよう働き方の改善を推進する。

4 求める生徒像

入学時に期待される生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】	・定時制・通信制課程の特色を理解し、主体的に学ぶ意欲を持った生徒。 ・多様な価値観を認め合い、人との関わりを大切にし、共に高め合える生徒。 ・将来に対して目的意識を持ち、自分ならではの学びができる生徒。

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
主体的な学びの推進	【教務】 <定通共通> ○ 多様な教育的ニーズをもった生徒が、主体的に学びに向き合えるよう、教育課程の見直しと学習環境の整備を実施する。 ○ 個別最適な学びや協働的な学びを取り入れた授業・スクーリング・添削指導を実施する。 ○ 生徒による授業・スクーリング評価を実施する。 【活動指標】 ・ 生徒による授業評価を年2回(5月、12月)実施 【成果指標】 ・ 授業・スクーリングの評価において、「内容に興味・関心が持てた」「学力(知識や技能)の向上や自分の進歩を実感できた」の項目について4.5ポイント以上	(年度末および適宜記載)	◎
安心安全な学校づくり	【人権学習】 <定通共通> ・ あらゆる教育活動において人権教育を推進する。 ・ 講演会、総合的な探究の時間、LHR、学校行事等、さまざまな教育活動を通じて仲間づくりを推進する。 ・ 個別の人権問題や差別の現状について学ぶことで、人権の意義と重要性を理解し、自他の人権を尊重できる人権感覚を育む。 <定時制> 【活動指標】 ・ 総合的な探究の時間で人権学習を実施する。(年2回) 【成果指標】 ・ 「夢ノート」において「興味をもった内容や新たな気づきがあった」生徒の割合70%以上 <通信制> 【活動指標】 ・ LHRや総合的な探究の時間等で人権に関する学習を実施する。(複数回) 【成果指標】 ・ 対面での人権LHRへの参加人数、動画配信の実施	(年度末および適宜記載)	◎
	【生徒指導】 <定通共通> ○ 自己肯定感や他者受容感を育み、いじめのない、「安心」して学校生活を送ることができるような「安全」な学校づくりを推進する。また、生徒一人ひとりが「命を守り、命を大切にする」意識を高められるよう指導する。 <定時制> ・ 誰もが大切な存在として認められ、一人ひとりが安心できる学校であるよう、積極的に生徒とコミュニケーションを図る。また、安全に学校生活を送ることができるよう、問題行動やトラブルの未然防止、早期対応に努める等、いじめ防止の取組を推進する。 【活動指標】 ・ いじめに特化した学習・研修を実施する。 ・ 学校生活アンケートを実施する(年3回)。 ・ 年間を通じた継続的な校内外の巡回を行う。	(年度末および適宜記載)	◎

	・ 始業式、終業式、長期休暇前等の集会時において、命の大切さについて講話する。 ・ 総合的な探究の時間において、5 月には「交通安全」教育、11 月には「情報モラル教育」を実施する。 ・ 授業規律を徹底する。 <通信制> ・ 生徒がいじめを許さない心や相手を思いやる心を身につけることができ、また、安心・安全に学校生活を送ることができるよう、学校環境を整える。 ・ 交通事故の加害者・被害者になることのないよう、交通安全教育を実施する。 【活動指標】 ・ 学校生活アンケートを実施する(年3回)。 ・ 職員による、年間を通じた継続的な巡回を行う。 ・ 特別活動の時間や Google Classroom等を利用し、仲間づくり、いじめ防止、交通安全に関する学習を行う。		
	【進路指導】 <定通共通支援の促進> ○ 定時制、通信制合同での進路支援を促進したり、定時制進路行事への通信生生徒の参加を促したりする。 【活動指標】 ・ 定通合同で就職選考委員会後の入社試験対策を実施する。 ・ 通信制卒年次生を中心に、定時制キャリアデザインセミナー②への参加を募る。 <定時制> ○ キャリアデザインセミナー及び進路相談の充実を図る。 ・ 進路に関して興味関心が高まり、「参加出席してよかった」と思えるキャリアデザインセミナーを実施する。 ・ 進路相談を通して、一人ひとりの進路プランを考え、サポートする。 【活動指標】 ・ 総合的な探究の時間において、キャリアデザインセミナーを、年4回実施する。 【成果指標】 ・ 振り返りシート(「夢ノート」)のアンケートにおいて、生徒の満足度80%以上 <通信制> ○ 進路ガイダンスを中心にしたキャリア教育の充実に努める。 ○ ソーシャルスキルを意識した授業づくりとLHRの運営を推進する。 【活動指標】 ・ 進路ガイダンスを3回(5時間)実施する。 【成果指標】 ・ 振り返りシートのアンケートにおいて、生徒の満足度80%以上	(年度末および適宜記載)	◎

社会的自立を促す支援	【保健】 <定通共通> ○ 個に応じた指導・支援の充実に努める。 ・保健室から情報発信し、定時制各部・通信制・各分掌等と連携を図り、生徒一人ひとりを尊重し、個に応じた指導・支援を実践する。<定通共通> 【活動指標】 ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや教育相談員との情報共有を密にし、連携して生徒の指導・支援を行う。(教育相談)<定通共通> ・対象生徒の実態を把握し、チューター・生徒・保護者との面談を通して、個別の教育支援計画を作成・活用する。(特別支援)<定通共通> ・集団に入ることが困難な生徒に対し、通常教室での学習に戻る力を育むために、教員とのマンツーマンでの学習支援を実施する。(個別支援)	(年度末および適宜記載)	◎
改善課題			
(年度末に記載)			

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
「チーム北星」の協力体制の構築	<全般> ○ 校務に関する情報共有を通して分掌・部・課程間の連携協力関係を強化する。 【活動指標】 ・各種委員会等の定期的な開催及び構成メンバーの見直し ・定通併修生徒の学習状況についての情報共有 ・Teams を活用した効果的な情報共有 <総務> ○ 保護者・地域等への情報提供の充実に努めるとともに地域連携を深める。 ・ホームページを随時更新し、個々の閲覧者に対してわかりやすく、的確に最新の情報を発信する。 ・防災教育や合同避難訓練を通して地域との連携を図り、防災意識の啓発に寄与する。 <PT(学校マネジメントプロジェクト会議)> 【活動指標】 ○ 職場の環境改善や職員研修の充実に努める。 ・教職員アンケートを実施し、その意見をもとに改善を図る。 ・職員研修として、現職教育を年4回実施する。 【成果指標】 ・アンケート項目において、「教職員間にお互いに協力・連携する雰囲気がある」の満足度が75%以上(昨年度末73%) ・「仕事の配分(業務の多寡)は公平で適切である」の満足度が40%以上(昨年度末35%)	(年度末および適宜記載)	◎

資質向上の取り組み	<全般> ○ 教職員一人ひとりが教育公務員としての自覚を持ち、県民の期待と信頼に応えていくために、人権感覚やコンプライアンス意識の向上に努める。 【活動指標】 ・ 全体でのコンプライアンス研修を年2回実施する。 ・ グループ単位によるコンプライアンスミーティングを年2回実施する。 <教務> ○ 授業・スクーリング公開及び、職員による授業・スクーリング見学週間を実施する。 【活動指標】 ・ 年2回(5月、12月)実施 【成果指標】 ・ 生徒による授業・スクーリング評価ポイント平均4.5ポイント以上 ・ 生徒による授業・スクーリング評価ポイントが、1回目比べて2回目において上昇 ○ 履修指導・受講指導に関する職員研修を実施する。 【活動指標】 ・ 年1回以上実施	(年度末および適宜記載)	◎
職場環境改善	<全般> ○ 働きやすい職場環境の向上に努める。 【活動指標】 ・ 学校運営の効率化を図り、教職員が働きやすい環境づくりを推進するため、総勤務時間縮減の取組として、以下の4項目に取り組む。 ① 定時退校日を月2日以上設定し、達成率90%以上 ② 部活動休養日を週2日以上設定し、達成率100% ③ 1時間以内に終了する会議 80%以上 ④ 学校閉校日を年5日以上設定(8月・12月) 【成果指標】 ① 時間外労働時間を平均月20時間以内 ② 月45時間を超える時間外労働者の延べ人数を0人 ③ 年360時間を超える時間外労働者の人数を0人 ④ 休暇取得日数を年間15日 30/人以上 <総務> ○ 生徒清掃時に行う職員のクリーンタイムを活用して、休憩室等、職員が使用する場所の清掃だけでなく、日頃から校内における職員の美化意識の向上を図る。	(年度末および適宜記載)	◎
改善課題			
(年度末に記載)			

6 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)

7 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)